

平成25年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名		徳島県海面環境保全推進事業（掃海事業）		担当部署	経済建設部 農林水産課	
総合計画体系				根拠法令計画など	徳島県補助金交付規則 徳島県水産関係事業費補助金交付要綱	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり				
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち なんと		事業期間	開始	昭和 ▼ 55 年度
(小項目)	農林水産業					
施策	6	水産業の振興			終期	未定 ▼
基本事業	1	漁業生産基盤の整備				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 海底に沈降している堆積物						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	海底に沈降している堆積物等を除去し、生産基盤である藻場の復旧復元並びに漁場環境の保全及び漁業生産の安定向上を図る。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		堆積物除去量	79	79	79	79	79	m ³

◎実施結果(DO)

事業実施内容	24年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行ったのか	小型底曳網漁船を使用して堆積物を引き上げ、可燃物は焼却処理、不燃物は廃棄物処理業者に引き渡し、処理した。						
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
指標名		23年度実績	24年度実績	25年度目標	26年度目標	27年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	掃海面積	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050	ha
	2	漁船隻数	86	85	86	86	86	隻
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	堆積物除去量		90	95	—	—	—	m ³
	目標達成率(実績/目標)		120.3		—	—	—	%

コスト分析		23年度実績	24年度実績	25年度	26年度	27年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)		2,873	3,219	2,760	2,760	2,760	千円
	財源内訳	国	0	0	0	0	0	
		県	2,249	2,553	2,160	2,160	2,160	
		地方債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	624	666	600	600	600	
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		672	672	672	672	672	人	
人件費内訳	正規職員(6,721千円/人)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1		
	臨時職員等(2,023千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		3,545	3,891	3,432	3,432	3,432	千円	

【事務事業名:徳島県海面環境保全推進事業(掃海事業)】

◎平成25年の実施状況(DO)

現在の実施状況	播磨灘沖は小型底曳網漁業、定置網漁業など多様な漁業経営が行われている。漁業環境の悪化や水産資源の枯渇による漁獲高の減少対策として、漁場の環境保全に努める為、小型底曳網漁船を使用して堆積物を引き上げ、可燃物は焼却処理、不燃物は廃棄物処理業者に引き渡し、処理する。
---------	--

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価		理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/> ① 廃止した場合に支障が出る。	掃海事業を実施することにより、漁場の回復が図られ、漁船の作業効率の上昇及び漁獲量の減少対策に繋がり、水産業の振興が図られる。
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 施策 水産業の振興 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input type="checkbox"/> ④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input type="checkbox"/> ⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/> ⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価		理由等所見欄
	10	<input checked="" type="checkbox"/> ① 市民生活上の課題解決に貢献している。	漁業経営の安定を図る上で、生産基盤となる漁場の回復及び保全は最重要であると考えます。
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。	
<input checked="" type="checkbox"/> ③ 事業対象は適切である。			
<input checked="" type="checkbox"/> ④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。			
<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。			
/10			
3.効率性の評価		理由等所見欄	
10	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業実施手法は適切である。	実施方法は海底の清掃作業であり、唯一の方法であるため、現状を十分に把握できているのは実施主体だけであり、見直しは不可能である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10			

◎今後の方向性(ACTION)

課題					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> <input type="text"/>			
	どのように改革するのか				